

スプレー缶による火災に注意！！！！

皆さんが普段使用しているスプレー缶※には可燃性ガスが含まれているものもあります。狭い室内（キッチン、車内など）で使用すると、室内に滞留し火気を使用した際に火災になったり、火気の近くでスプレー缶を使うと引火して火災になるおそれがありますので、絶対にやめましょう！！！！

※スプレー缶の種類（制汗スプレー、殺虫剤スプレー、整髪スプレー、エアダスターなど）

当組合の火災事例

- ・キッチンにて使用済みのスプレー缶を廃棄しようと、残ったガスを抜いたところ使用中のガスコンロから引火。人的被害なし（2件）
- ・石油ストーブを使用中に殺虫スプレーを噴射したため、引火したもの。人的被害なし（1件）

正しい使い方

「炎や火気のあるところで使用しない」

「高温となる状態にしない」が、スプレー缶による火災事故防止の鍵です。

スプレー缶には火気と温度に関する注意事項が記載されています。

しかも一般的な「使用上の注意」とは別に、目立つ表示で書かれています。

表示の例

